

令和2年度 当初予算要求事業内容説明書

3款 3項 2目

【会計】一般会計

3款:民生費 3項:児童福祉費 2目:児童措置費

事業	143	家庭児童相談事業
担当所属		児童青少年課

【予算額】

予算要求額	(財源内訳)				
	一般財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財
6,059千円	5,901千円	79千円	79千円		

【事業の概要】

事業の概要	子どもの福祉に関する様々な相談に応じます。支援の必要な家庭に対し、児童虐待防止ネットワークにより、児童の安全確認と家庭への支援を行います。
事業の目的	・児童虐待の防止を目指し、関係機関との連携と協力のもとに、早期発見・早期対応、虐待を受けた子どもとその家族への支援を行います。例えば、児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応を図るため、相談及び支援体制の充実に努めます。
事業の効果	・児童虐待防止の周知、児童虐待の早期発見、早期対応、育児不安感の軽減を図ることができます。

【予算額の節別内訳】

節	予算額	説明
1 報酬		
家庭児童支援員報酬	4,316千円	会計年度任用職員2人分
3 職員手当等	570千円	会計年度任用職員2人分
4 共済費		
社会保険料	746千円	家庭児童支援員に係る社会保険料(2人分)
8 報償費		
謝礼金	30千円	外国語通訳に係る謝礼金
講師謝礼	40千円	講演会講師料(1回分)
9 旅費		
普通旅費	42千円	職員の出張に要する交通費
特別旅費	28千円	職員の出張に要する交通費(市町村虐待対応指導者研修)
パートタイム会計年度任用職員費用弁償(通勤費)	57千円	会計年度任用職員2人分
パートタイム会計年度任用職員費用弁償(出張費)	34千円	会計年度任用職員2人分
11 需用費		
消耗品費	55千円	事務用消耗品

印刷製本費	100千円	児童虐待防止啓発チラシ(5,000部)の印刷代
14 使用料及び賃借料		
有料道路通行料	24千円	要保護児童支援に係る職員の出張に要する有料道路通行料(3回分)
駐車場使用料	3千円	要保護児童支援に係る職員の出張に要する駐車場使用料
19 負担金補助及び交付金		
各種研修負担金	14千円	市町村虐待対応指導者研修等への参加費(2人分)
計	6,059千円	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和2年度計画値
佐倉市児童虐待防止ネットワーク会議開催数	80回
児童虐待防止研修実施回数	9回
相談対応率	100%